

第77回企画展

『絹を生む虫 “おカイコさん” 』

～日本の近代化に貢献した養蚕～



平成30年7月6日(金)～平成30年9月29日(土)

岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

日本が近代国家への道を歩みだした明治維新から数えて、今年は150年目の年に当たります。当時輸出品として外貨を獲得したのは生糸と絹製品でした。明治政府は養蚕を奨励し、日本は世界一の絹生産国になりました。日本が開国して諸外国との交易が始まった1859（安政6）年から1933（昭和8）年までの75年間、生糸は日本の輸出総額の約4割を占めていました。

これほど長く輸出品の第1位の座を保持した産品は日本の歴史上生糸以外はありません。

本県では養蚕は米に次ぐ大きな収入源として、1940（昭和15）年には4割の農家が養蚕を行っていました。蚕の飼育には、多くの労働力と細かな心遣いが必要です。また、天候や気温などの変化で繭の収量が大きく左右されるため、農家は飼育方法を工夫し、蚕具の改良に取り組んできました。

今回の企画展では、養蚕の歴史と飼育の仕方、使用蚕具について紹介します。



繰
ぎ
機



繰
こ
き
機



ま
ぶ
し
お
り
き
機



ま
ぶ
し
百
足
機



さ
ん
し
ゆ
う
ば
こ
送
送
箱

か
い
て
ん
ま
ぶ
し
回
転
機



く
わ
き
り
は
さ
み
剪
鋏



さ
ん
し
ゆ
う
ば
こ
製

岩手県立農業ふれあい公園

農 業 科 学 博 物 館

北上市飯豊 3-110 TEL:0197-68-3975

開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)

入館料／一般300円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等(20名以上)があります

駐車場／大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台